

製品名: CCL4/MIP1 beta (2H8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08145**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:10000,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	10kDa

抗原情報

遺伝子名	CCL4
別名	ACT2; G-26; HC21; LAG1; LAG-1; MIP1B; SCYA2; SCYA4; MIP1B1; AT744.1;MIP-1-beta;
遺伝子 ID	388372;6351
SwissProt ID	P13236
免疫原	ヒト CCL4 の合成ペプチド

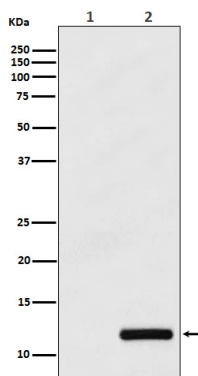
背景

炎症性およびケモカイン動態特性を持つモノカイン。CCR5 に結合します。CD8+ T細胞によって産生される主要な HIV 抑制因子の一つです。組み換え MIP-1-beta は、HIV-1、HIV-2、およびサル免疫不全ウイルス (SIV) の様々な株に対して用量依存的な阻害を引き起こします。炎症性およびケモカイン動態特性を持つモノカイン。CCR5 に結合します。CD8+ T細胞によって産生される主要な HIV 抑制因子の一つです。組み換え MIP-1-beta は、HIV-1、HIV-2、およびサル免疫不全ウイルス (SIV) の様々な株に対して用量依存的な阻害を引き起こします。処理された MIP-1-beta(3-69)は、ケモカイン受容体 CCR5 の表面発現のダウンモジュレーションを引き起こし、T細胞における CCR5 を介した HIV-1 の侵入を阻害する能力を保持しています。MIP-1-beta(3-69)は CCR1 および CCR2 アイソフォーム B のリガンドでもある。

研究分野

免疫学、自然免疫、ケモカイン、ベータケモカイン (CC)、マクロファージ / 炎症、免疫系疾患、抗ウイルスシグナル伝達、HIV 関連、サイトカインおよびサイトカイン受容体 ELISA キット、神経科学

画像データ



(1) THP-1 細胞溶解物、(2) PMA+LPS+プレフェルジン A で処理した THP-1 細胞における CCL4/MIP1 ベータ発現のウエスタンブロット解析。